講義名	教職概論【教職科目】			授業形態	
担当教員	田邉　良祐	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 １時限		
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	TTC122

主題と概要

本授業では教員の仕事に関する、様々な制度と歴史、やりがいや仕事の実際、教職の抱える課題、日本と諸外国の教職との違い等について、様々な資料やテキストを基に理解する。そして、自信が教壇に立った時の姿を見通すことができるようになることを目指す。
本授業は、上記の目標を達成するために「シネエデュケーション」を実施する。
　「シネエデュケーション」は、元々1994年にマシュー・アレキサンダーによって、CinemaとMedicalとEducationを組み合わせた造語として提唱された「シネメデュケーション」に依拠する。映像作品には教育、社会、政治等の課題を取り上げ、痛烈な批判を行っている作品も多い。それ故「教育」を考える効果的な素材であり、可視化困難で教えることが難しい「生命の尊さ」「公徳心」「義務・権利」「愛」といった事項を検討するために適している。
　本授業では、教員に限定せず、スポーツ指導者やコーチ、親や上司など広義に「指導する立場にある人」「教える立場にある人」に焦点を当てる。その中から、その指導者の哲学、その指導者の優れているところ、その指導者を反面教師として捉えるべき点、等々の視点をその都度設定して考察を行う。

到達目標

目標1　教職の服務について関係法規を示しながら説明することができる。
目標2　教職の実際について、様々な課題の原因を示しながら説明することができる。
目標3　日本と諸外国の教職の実際を理解し、比較した結果日本の教職の特徴を説明することができる。
目標4　教師観の醸成と自身の教職の適性について判断することができる。

提出課題

ポートフォリオ、発表課題を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ポートフォリオは学生と教員で往還し、コメントを付して返却する。

評価の基準

・ポートフォリオ　70%（5点×14回）
・発表時の資料及びプレゼンテーション　30%

履修にあたっての注意・助言他

各受講学生は授業内に一度反転授業を実施する。具体的には以下のことを行う。
・ビジュアルアーツ（視覚芸術：絵画、写真、絵本、映像等々目に見えるアート作品）を用意する
・ビジュアルアーツに登場する「指導者」を通して、聞き手に何を伝えたいのかテーマを設定する
・「指導者」からどのようなことが学べるのか、プレゼンテーション（授業）をする。その後、聞き手とともにビジュアルアーツを鑑賞する
・鑑賞時間を含め、60分以上90分未満でプレゼンテーション（授業）を構成する。
反転授業は「最終レポート」の扱いとする。よって、反転授業を行わない場合、授業を「放棄」したものとみなす。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.なし.				

その他

授業内で適宜授業資料を示す。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		ウ：ディスカッション、ディベート
○	エ：グループワーク	○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

備考	本授業は、教員の免許状(高等学校1種免許・商業科)取得のための必修科目である。

授業計画

第1回：授業ガイダンス
【予習】シラバスを熟読し「反転授業」の方法について文献等から整理する（2時間）
【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第2回：「教師の仕事」に関する制度と歴史
【予習】「教師の仕事」に関して1日のスケジュールを作成し、教師の仕事（職務）がわかる法制度を探し整理する（2時間）
【復習】【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第3回：「教員養成」と「教員免許」
【予習】前時に指示したテーマについてポートフォリオに記載する。具体的には「教員養成」「教員免許」に関する法制度を整理する（2時間）
【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第4回：「教員の任用」と「服務」
【予習】前時に指示したテーマについてポートフォリオに記載する。具体的には教師の教員の身分、服務、身分保障と分限・懲戒、勤務条件に関して整理する（2時間）
【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第5回：「学校」と「教師の職場環境」
【予習】前時に指示したテーマについてポートフォリオに記載する。具体的には教員の職務実態や「教員の働き方改革」に関して整理する（2時間）
【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第6回：教師の「専門性」と「専門職性」
【予習】前時に指示したテーマについてポートフォリオに記載する。具体的には専門職として教師に求められている資質・能力に関して整理する（2時間）
【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第7回：教師の「資質能力の向上」と「研修」
【予習】前時に指示したテーマについてポートフォリオに記載する。具体的には教師のライフコースに着目し、教師の力量形成と研修制度に関して整理する（2時間）
【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第8回：教員の選考と「教員採用試験」
【予習】前時に指示したテーマについてポートフォリオに記載する。具体的には一つ自治体を選定し、「求める教師像」「選考方法」「選考スケジュール」等に関して整理する（2時間）
【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第9回：諸外国における「教師の仕事」
【予習】前時に指示したテーマについてポートフォリオに記載する。具体的には日本以外の国（諸外国）において、教師の仕事を整理し、日本と比較して違いを説明する（2時間）
【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第10回：学生による反転授業①
第11回：学生による反転授業②
第12回：学生による反転授業③
第13回：学生による反転授業④
第14回：学生による反転授業⑤
第10～14回において、各学生は1回必ず反転授業を行う。反転授業の実施にあたっては以下の授業準備を行う。
【授業準備】ビジュアルアーツの選定とテーマの確定（2時間）、テーマについて他の学生に考えてもらうためのワークシートの作成（2時間）、45分の発表スライドの作成（4時間）、授業展開を整理する授業ノートまたは指導案の作成（2時間）
【復習】各反転授業に関して、授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

第15回：授業のまとめと教育観・教職観の整理
【予習】これまでの授業を振り返り「学び」をグループワークで共有できるよう整理する（2時間）
【復習】本時の授業内容をFIT（Fact、Insight、Try）の観点で整理し、ポートフォリオを作成する（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部では共通して「マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる」資質能力の育成を目指している。
高等学校商業科は「ビジネスで必要となる実践的な働く力を身に付ける」ことが目的である。そのような資質能力を生徒に育成する教員となるべく、「問題探索」「課題提案」を随時授業を通して行い、DPで示す資質能力の育成を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業では、資料をクラウドで配布したり、必要な情報を調べたりする。
そのため、可能な限りスマートフォン、タブレット、ラップトップなどの端末を持参すること。

実務経験の有無及び活用